

ファミリーステーションいなみえん通信

発行：社会福祉法人 伊奈美園

発行日：令和 4 年 6 月吉日【第 30 号】

令和 3 年度 運営事業実績報告

令和 3 年度のファミリーステーションいなみえんの運営実績の報告をします。

1. 相談件数

新規受理件数（前年度からの継続の方も含みます）は合計 136 名でした。相談延件数は合計 1907 件となり前年度から約 734 件増加しました。以下、相談延件数の内訳について説明します。

(1) 相談方法の月別相談延件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
電話	6	3	8	14	3	5	13	8	7	14	13	19	113
来所	19	1	17	15	17	15	13	13	12	1	1	15	139
訪問	69	77	154	89	20	152	182	132	106	156	149	110	1396
心理	32	20	20	31	14	15	20	27	12	14	29	20	254
他	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
延	126	104	200	149	55	187	228	180	137	185	192	164	1907

新型コロナウイルスが流行し始めた前年度に比べて、『コロナ禍 2 年目』の令和 3 年度は、“コロナ禍での相談支援”を確立した年となったと言えます。令和 3 年度も新型コロナウイルスの流行は止まらず、当児家センがある石川県でも何度かまん延防止等重点措置がとられました。しかし、コロナ禍でも安心して来所できるような工夫をし、継続して相談を受けることができたため令和 2 年度に比べ新型コロナウイルスの影響による相談件数の減少は最低限に抑えることができたと考えられます。

さらに、当児家センは“こども宅食緊急支援プロジェクト”に賛同し、加賀市子育て応援ステーションかがっこネットのご協力の下、令和 3 年 12 月から支援の必要な家庭に食品や生活用品を配布する活動も行っています。このプロジェクトは 6 ヶ月間の継続的な支援のため、毎月かがっこネットの方と訪問支援を行うことができています。これにより「訪問相談」が増加していると考えられます。

(2) 相談内容の種別延件数

養護	虐待 (再)	保健	障害	非行	育成				いじめ	DV	他	合計
					性格 行動	不登校	適性	しつけ				
459	341	25	0	0	1245	176	0	0	0	0	2	1907

相談内容に関しては、「性格行動」「虐待」「不登校」が多い結果となりました。学校や市の関係機関などから「不登校」の相談を紹介されることが度々ありました。また、不登校や虐待という形ではあらわれないが、家族や関係機関が日々対応に困っている子への相談対応も多くあります。それが「性格行動」の多さを表す結果となりました。地域に根付いた支援を目標に、地域の特色や関係機関から求められているものが何かを常に考えながら相談活動を行っていきたいです。



(3) 相談経路の受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機関	学校 等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上本人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
130	0	129	120	1084	1	39	345	0	58	1	0	0	1907

相談経路に関しては同法人内のこども園や放課後児童クラブを通じての相談支援をしていることもあり、『児童福祉施設』が最も多い結果となりました。また、児童相談所や加賀市の子育て応援ステーションとの連携も多く行うことができ、複数の機関で地域の家庭・こどもを支援する体制が構築されています。当児家センがさらに地域に周知されることで、学校や家族・本人などからも相談の依頼が増えてくると考えられます。



2. 関係機関等との連携・連絡調整

関係機関等との連携・連絡調整件数は45件でした。毎月行っている児童相談所との受理会議（ケース管理・スーパービジョンを目的とする）や、要保護児童対策地域協議会への参加、その他関係機関が主催する会議や個別ケース会議などが件数に反映されています。さらに、学校等から不登校や発達面で支援が必要な児に対する相談依頼もあります。また、前述の“こども宅食緊急支援プロジェクト”を通して加賀市の子育て応援ステーションとの連携を密にできたと実感しています。





新人職員の紹介



しまだ ふみや
心理担当職員：嶋田 史弥

はじめまして。4月から心理担当職員として働くことになりました嶋田史弥と申します。私は、大学院での実習で、
発達の違いなどによって子育てに悩みを抱えている保護者や、他者との関わりが苦手な子への支援の様子を拝見
する機会をいただきました。その経験から、発達の遅れをはじめとした悩みがあったとしても、適切な支援があれば
親子が安心して過ごすことができることを学びました。これから、心理職として利用者の方々や関係機関の方々の
役に立てるよう、精一杯努力して参ります。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



仕事中

センター前の花壇に咲いたガザニアの花



新人職員の紹介



やすだ もえか
相談員：安田 萌夏
(社会福祉士)

はじめまして。今年度から相談員として働かせていただいております安田萌夏と申します。大学では4年間、社
会福祉学を専攻しており、高齢、障害、児童などさまざまな分野のソーシャルワークについて学んできました。他に
も、大学時代には、子どもと遊びを通して学びを深めるボランティアや、中学生を対象とした塾のチューターのアル
バイトを経験してきました。社会人1年目で、かつ、関西から来ましたので、分からないことがたくさんありますが、
一生懸命努めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



水やり中

センター横の道路に生えた、たくましいハーブ



「あいの宅食サポートプロジェクト」

ファミリーステーションいなみえん所長 : 田中 孝^{たなか たかし}



伊奈美園
園章

令和4年度が始まりました。相変わらず、新型コロナウイルス感染症が続いています。2年前より支援団体から事業費の援助を頂き、食の支援を継続して参りましたが、6月で完了となります。今後は、当センターでの独自事業として、7月より名称を“あいの宅食サポートプロジェクト”として、展開していくこととなりました。支援の詳細は検討中ですが、この名称には幾つかの思い入れがあります。“あい”は、「愛」、「会いにいく」、それに当法人のiちゃんマークと呼んでいる園章の意味合いも含めました。

iちゃんマークの歴史を調べると、昭和40年に全国から募集したもので、佳作15点の中から選ばれたものでした。作者は川崎市にお住まいの岩崎秀二さんで、その図考は園の頭文字 i から、子どもの愛らしい顔を図案化したもので、輪郭の丸は地球を示し子どもの幸せと世界平和を表現したそうです。この園章の旗は、現在も毎朝掲揚を続けています。

私たちは、支援を必要としている人や家庭に会いに行き、愛情をもった関わりをする、その気持ちでこの事業を続けていきたいと思っています。

【山代出張相談】

〈場所〉山代よりみちハウス

〈日時〉毎月第2金曜日

連絡は当センターまで♪

【相談ダイヤル】

月曜日～土曜日

9:00-17:00

0761-75-8889

お気軽にどうぞ

【今後の予定】

・6月21日(火)

子ども支援連絡会(月定例)

・7月8日(金)

山代出張相談(月定例)

・7月11日(月)

山代地区子どもを育てる会(月定例)

・7月15日(金)

親の会(月定例)

曜日	心理担当(要予約)	
	浅田	森川
月		9:00-17:00
火		13:00-17:00
水		13:00-17:00
木		13:00-17:00
金		9:00-17:00
土	10:00-17:00	9:00-14:30
日		

子どもと家庭の悩み 話してみませんか？

児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL 0761-75-8889

FAX 0761-74-1461

E-mail center@inamien.jp